2022.01.13. 木曜礼拝

「私が問題」　イザヤ書 59 章

JD ファラグ牧師

それでは、こんばんは。週半ば「聖書の学び」へようこそ。木曜日の夜は、（旧約）聖書を書ごと、章ごと、節ごとに学びます。現在、素晴らしい「イザヤ書」です。実は、この素晴らしい「イザヤ書」ほぼ終盤に近づいていています。数え間違っていないければ、残すところ、あと 7 章です。今夜は 1 章だけを学びます。先週、58 章を学び終えました。ですから今夜、私たちの前にあるのは 59 章で、大変興味深い内容です。今夜この章で、主が私たちへの御言葉をくださることが分かっています。一緒に祈りましょう。今夜の御言葉におけるこの時間を祝福下さるよう神にお願いしましょう。一緒に祈りましょう。

主よ、ありがとうございます。主よ、どうかこの時間、聖霊によって、私たちを落ち着かせ、思考を静め、心を整えて下さいますように。不安やストレス、プレッシャーなど、多忙な日々の中で直面するさまざまな問題、特にこんにち、世界で起こっているすべてのことに対して。私たちにとって木曜の夜のこの時間は、あらゆる意味での真の聖域です。私たちが来ることのできる、安全で、美しい場所です。全てを脇に置き、聖書を開き、心を開き、目を開き、聞く耳を持てるのです。なぜなら、御言葉を通して、あなたが語って下さるからです。問題はそこではありません。問題は、あなたが語ってくださる事ではなくあなたは語ってくださいますから。問題は、私たちが聞く耳を持てるかで、さらに重要なのは、私たちが、あなたの御言葉に注意を払うことです。主よ、それが今夜ここにいる理由です。私たちがあなたに飢え渇いているのが本当に分かっています。あなたを切に求めます。真実を知らしめれば、あなただけが私たちを満たせ、私たちの魂があなたを必要としているのです。ですから主よ、私たちはあなたが私たちを導いて下さることを本当に必要としています。今夜、私たちの前にあるこの章で、あなたが私たちに持っておられることを私たちに語り、見せてください。この聖書の学びを祝福下さいますように。イエスの御名によって祈ります。アーメン、アーメン。

では、今日の聖書の学びに選んだタイトルはいかがですか？気に入りましたか？『私が問題』

よろしい。祈りで締めくくりましょう。正解だったと思います。それに気づいていますか？ あなたが問題。私が問題。今夜、私たちの前にあるこの章は実に、罪の問題、罪のために常に生じる苦しみについてです。その問題は、自分です。他の誰でもありません。確かに、これから見ていく通り、主が問題なのではありません。当然のことように聞こえるかもしれませんが、この問題に関して、預言者イザヤが導かれて書いているのです。私が知っている唯一の言い方は、良く言うのが、「神は問題を抱えておられる」です。神に問題があられるのではなく、神が抱えている問題が私たちなのです。私たちがその問題なのです。繰り返しますが、今から見ていく通り、イザヤの時代の人々は、自分が問題であること、自分の罪が問題であること、自分の罪のために、苦しみや結果があったことを認めようとしなかったようです。そして彼らは、誰にも責任を負わせることができず、ましてや主ではありません。しかし、当時の彼らと同じように、今の私たちも、自分の人生の問題を、自分以外のすべてのものやすべての人を非難しがちではないでしょうか？ 私が「私たちが問題だ」と言うと、その反応はもう分かっています。反応というよりも、むしろ反作用のようなものです。その意味を説明します。私がその反応を分かっているのは、私が自分の肉において同じ反応をするからです。使徒パウロが書いたように、

「自分の肉のうちに善が住んでいないことを知っています。」（ローマ　7：18）

なんというか崇高で霊的に聞こえますね。「自分の肉のうちに善が住んでいないことを分かっています。」

こうなりますね。「わお～パウロって凄い！」話しているのは、使徒パウロの事ですよ。聖霊によって書いて、語っているのです。「全く持って、私は根っから腐っています。」どうですか？ 言い換えれば、私が問題なのです。しかし、私の肉はそれを嫌がります。その話が出ただけで、問題は自分だという考えです。私の罪、私の状態。「私が咎められる者である。誰のせいでもなく、自分のせい。」そういう言い方しますよね。誰のせいでもなく、自分のせいなのです。しかし、彼らはそれをしなかった。彼らは実際、その責任は主の足元にあると考える大胆さがありました。それを今から見ていきます。すぐ、1 節から始まります。準備はいいですか？ 始めましょう。

イザヤ　59

1 見よ。主の手が短くて救えないのではない。その耳が遠くて聞こえないのではない。

訳すと、主の御手が短すぎて救えないのが問題ではない。主の御手は短すぎません。主は救うことがおできになります。問題は、主の御手が短すぎて救えないのではなく、問題は、主の耳が遠くて聞こえないのではない。言い換えれば、そんなことが問題なのではないよ。それが問題ではなく、これが問題なのです。それが 2 節。準備はいいですか？ 頭を下げて目を閉じるべき？ その前に、今すぐ抜け出せますよ。なぜなら、これから皆さんを追い詰めますから。そう、私も追い詰めます 2 節、

イザヤ　59

2 むしろ、あなたがたの咎が、あなたがたと、あなたがたの神との仕切りとなり、あなたがたの罪（これが問題）**が御顔を隠させ、聞いてくださらないようにしたのだ。**

それが問題なのです。主の御手が短すぎて救えない、耳が遠すぎて聞こえないのではありません。そうではなく、主はお救いになられます。聞いておられます。それが問題ではありません。あなたが問題で、あなたの罪が問題であり、あなたの咎が問題なのです。今からもっと具体的に見ていきます。3 節、

3 実に、あなたがたの手は血で、（自分の手に血の責任がある）**指は咎で汚れている。**（手、指、唇、舌に注目）**あなたがたの唇は偽りを語り、舌は不正を告げる。**

4 義をもって訴える者はなく、真実をもって弁護する者もいない。空しいことに頼り、嘘を言い、邪悪をはらみ、不正を産む。

そして 5 節、さらに悪くなります。

5 彼らは、まむしの卵をかえし、くもの巣を織る。その卵を食べる者は死に、卵をつぶすと毒蛇が飛び出す。

わお～なんと生々しいのでしょう。そう、そうしなきゃなりません。なぜなら、神は問題があられます。繰り返しますが、神が問題ではありませんが、問題は、神が彼らにそれらを見せなければならないのです。彼らが問題であり、彼らの罪が問題であることを。そのため、彼らの不義がいかに罪深く、邪悪で悪であるかを、非常に生々しく詳細に説明しなければならないのです。6 節、

6 そのくもの巣は衣にはならず、自分の作ったもので身をおおうこともできない。彼らのわざは不義のわざ、暴虐の行いがその手にある。

先週、58 章の「悪の拳」で実際に見ましたね。つまり、これは、暴力的で邪悪な人々の描写なのです。邪悪なものを見抜くというイメージはどうでしょうか？ 実際に、不義の産みの苦しみなのです。それが彼らがやっていたことです。彼らの手に血の責任があり、唇は偽りを語り、その手に暴虐の行い、彼らの指、彼らの口、彼らの舌、やっている事、話している事、根っからの悪党。7 節、手と口から足へ行きます。

イザヤ　59
7 その足は悪に走り、…
つまり、彼らはそこから逃げてはなく彼らは急いでそこに向かって走っている。
…咎なき者の血を流すのに速い。その思いは不義の思い。暴行と破滅が彼らの大路にある。
ここで何が起こっているのでしょうか。これは何を言っているのでしょうか？ 私たちがどんなに罪に対して否定的であり、自分たちの罪について否定的であるかを物語っていると思います。私たちは常に、その罪をより好意的に、口当たりよく、友好的に表現すると語っています。
「お～そうじゃないんだ。大したことじゃないよ。」「いいえ、大したことです。」「そう、別に誰も傷つけていませんよ。」「いいえ、傷つけています。」そのため、自分の罪の重さを否定したり、軽視したりする傾向があります。そして、ここで神は仰っています。「あなたは逃げられない。残念だが。」私たちがどんなに自分の罪を否定しても、あるいは罪を隠そうと努力しても、これが神が私たちの罪をご覧になる方法です。神はすべてをご覧になっています。その結果、私たちに 2 つの影響のうちひとつが発生します。1 つは良いけど、もう一つは、さほど良くありません。さほど良くない方が、神は、私たちのする事すべてをご覧になっている事。どんなにそれを否定したとしても、または、どんなにそれを隠したとしても。私たちはそれを隠そうとしますが、神はそのすべてを見ておられます。神は、悪に走って罪のない血を流そうと急いでいるのを見ておられます。このように、手や口にまで暴力を振るう行為は、肉体的な虐待、言葉の暴力です。繰り返しますが、私たちは先週話しましたね。今夜、再度それには入りませんが、人に接する方法です。神は全てを見ておられます。どんなにきれいに片付け、整えようとも神はそれを見ておられます。繰り返しますが、取り繕うとしても。「そうじゃないよ、悪い事じゃないんだ。」「いいえ、悪い事です。」悪い事です。これが神のご覧になる方法です。8 節、
8 彼らは平和の道を知らず、その道筋には公正がない。自分の通り道を曲げ、そこを歩む者はだれも平和を知らない。
ちょっと馬鹿げているかもしれませんが、こういう格言を知っていますか？　”～がないと、、、”　あ”～私に、メモが要る理由がこれですね。神なしでは平安なし。なし（ノー/No）と、知る（ノー/Know）どなたか助けてください。（会衆から）ありがとうございます。教えて下さった方、どうもありがとうございます。聖霊様、あなたがそれを受け取り、そこから用いてください。神を知れば、平安を知る。Know God - Know Peace　神なしでは平安なし。No God - No Peace　OK。これでいいですか？　よろしい。これが精一杯です。そう言う事なのです。ここが実際ポイントです。信じようと信じまいと、ここがポイントです。このような曲がりくねった道を選んだ者は、決して平安を知ることはないと知るべきです。喜びの杯から味わう事は決してありません。平安の杯から味わう事は決してありません。むしろ、混乱しかないでしょう。混乱。この理由がために。興味深いのは、使徒パウロがローマ人への手紙の「正しい者は一人もいない」という文脈でこの言葉を引用していることです。実に、毎週日曜日「救いの ABC」で、ローマ人への手紙 3 章 10 節を引用します。パウロは、「罪のない人はいない」というこの真理を確立しているからです。ヨハネはそれを説明し、さらに踏み込んでこう言います。自分に罪がないと言うなら、嘘つきです。（I ヨハネ　1：10 参照）いかがですか？　素敵な午後をお過ごしください。つまり、思い知れ。というか、一人もいない。罪を犯していないと言える人は、一人もいない。
「すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず、」（ローマ　3：23）
「義人（正しい者）はいない。一人もいない。」（ローマ　3：10）

正しい人はいない。自分が良い人間だと思っているかもしれませんが、あなたはとても良い人かもしれませんが、あなたは私よりも良い人かもしれませんが、(正しい単語でないのは分かってますから、メールしないでください。) あなたは決して十分ではありません。人のことを何と言うかと言えば、「お～彼らは良心がある。」 エレミヤに聞いてみるといいかもしれませんね。

「私たちの心は偽りに満ちた邪悪なものだ」と言っています。(エレミヤ　17：9)

邪悪であることは悪いことですが、偽りに満ちた邪悪はどうですか？　自分を騙し、自分自身を偽る事で、さらに悪いです。その意味分かりますか？　それって、、深遠なのは分かっていますが、自分を騙すことは、自分で自分を騙すことです。騙すのが上手いので、自分で自分を騙してしまっています。よく考えてください。私たちの心は欺瞞に満ちた邪悪なものです。誰がそれを知っているのか？　あなたには分からない。あなたに望みはありません。あなたの心は修復不可能です。あなたの心は人の心に欺かれて弱いのです。人の心とは何か。今度誰かにこう言われたら、、、優しくなって、つまり、今度誰かにこう言われたら、「お～あなたはとても良い心をお持ちで、彼らはとても良心を持っていますね。」彼らに忠告ください。「彼らはそうじゃない。偽りの邪悪な心があるんです！！！」ー(笑)ー　イエスの御名によって、愛を持ってね。パンチの効いた言葉ですが、事実です。繰り返しますが、それがパウロの語っている事です。私の中には、私の肉においては、良い物は全くありません。私は欺瞞に満ちた邪悪な存在です。自己認識しています。誤魔化すのは得意です。自分自身を偽ります。自分自身の嘘を信じますから。それほどまで私は得意なのです。それって真実ですよね。皆さん、私たちが言うところの病的な嘘つきの人たちと交わったことがあるのではないでしょうか。彼らは嘘が得意です。彼らは、自分の嘘を本当に信じています。あり得るでしょう？　それが自身を欺く事なのです。話が逸れるつもりはなかったのですが、やってしまいました。しかし、使徒パウロは本質的に、預言者イザヤが課題としていることと同じことを課題にしています。私たちが救い主を必要とする罪びとであることを示すためです。それで「ローマ人への手紙 3 章」を引用しています。15 節から 17 節を読みます。

ローマ　3

15「彼らの足は血を流すのに速く、

16 彼らの道には破壊と悲惨がある。

17 彼らは平和の道を知らない。

実際は、10 節から 18 節ですが、パウロは、この「イザヤ書」の一節を引用しただけではなく、「詩篇」も引用しています。彼らは神を畏れていない。彼らは、自分を善人だと思い込んでいるが、実際には悪であり、咎に満ちている。9 節、私たちは、ここで良い意味での角を曲がります。あ、そういえば、、、ごめんなさい。大変長い一週間でしたから。神がすべてを見ておられることを知ることで、私たちに 2 つの効果があると言いました。1 つは良いもの、もう 1 つはそうでないもの。良くない方は、神が全てを見ておられることですが、良い方は、神が全てを見ておられることです。ですから、彼らは逃げられません。お～彼らは、自分たちが考えた咎の概念でどうにかなると思っています。邪悪な計略の毒蛇の卵を孵化させます。邪悪な計略を孵化させるとは？　うははは～そう、それが良い方ですね。理由は、神はあなたがしている事全てをご覧になっているからです。事実、これがポイントです。神は、あなたがそれをしようと思う前から、あなたがそれをするのをご存知でした。実に神は、あなたがそれをしようとする前に、あなたがそれをするつもりなのをご存知でした。どうですか？　神はすべてをご覧になっています。それから逃れることは出来ません。OK。すでに進行中の聖書の学びに戻ります。9 節で、実に良い角を曲

がります。これが彼らの返答です。
9 それゆえ、公正は私たちから遠く離れ、義は私たちに届かない。私たちは光を待ち望んでいたが、見よ、闇。輝きを待ち望んでいたが、歩くのは暗闇の中。
10 私たちは見えない人のように壁を手さぐりし、目が無いかのように手さぐりする。真昼でも、たそがれ時のようにつまずき、強健な者の中にいる死人のようだ。
11 私たちはみな、熊のようにうなり、鳩のようにぶつぶつうめく。...
ここではそれに共感できますね。なんだか、うめき声や泣き声のような音や音色がしませんか？　ここに引っ越してきたばかりの頃は、鳩や小鳥や野鳥の鳴き声が気になって仕方がなかったのを覚えています。ちなみに、天国には野鳥はいませんよ。ぐわーぐわーというあの鳴き声イライラしますよね。私の問題はもういいですね。神が野鳥を作られたことは分かっています。構いません。...鳩のようにぶつぶつうめく。...これは、彼らが罪深い状態でいたことをよく表しています。
...公正を待ち望むが、それはなく、救いを待ち望むが、私たちから遠く離れている。
OK。これで いい感じになってきましたね。彼らはようやく、少なくとも自分の罪の結果と影響を認めているようです。盲人のように真昼間から手探りで道を探している、という表現がどれほど詩的でしょうか。真っ暗です。彼らは盲目で、手探りでつまずき、熊のように唸ります。悔しさ、焦り、苛立ちが伝わってくるような、鳩のように悲しげに呻くのが聞こえてきそうです。自分の罪の結果と影響のために、彼らは、ただ悲しいトーンで呻くのです。私が何度も言っていることなので、皆さんも聞いたことがあられますね。真実を言っているので、飽き飽きしないで下さいね。罪は禁じられているから悪いのではなく、罪は悪いから禁じられているのです。これについてちょっと説明させてください。神がこう仰っているのではありません。「汝それをしてはならない。私は神であり、私がそう言ったからだ！　汝がそれをした日には、必ず死ぬ！」「うわ～罪って、、、悪いんだ。」「そうだよ。禁じられている。」そうではなく、その逆です。全体の様相が変わります。罪は禁じられているから悪いのではなく、罪は”私のために”悪いから禁じられているのです。そして神は私を愛しておられます。神は私が、罪のせいで不必要に苦しむのを望んでおられません。ある人が適切な表現をしています。Ten Commandments/十戒は、優しい愛に満ちた天の父からの、Tender Commandments/優しい戒め。「わたしはあなたをとても愛しています。愛するあなたが不貞をして、不必要に苦しむのを見るのは耐えられません。貪欲があなたの昼食、夕食、翌朝の朝食も貪り食ってしまうからです。わたしはあなたをとても愛しているのです。汝、欲しがってはなりません。なぜなら、貪欲さがあなたに何をもたらすかを知っているからです。わたしはあなたを愛しています。あなたにそんなことが起こってほしくありません。それがあなたを滅ぼしてしまいます。」殺人をしてはなりません。殺す、ではありませんよ。違います。ほ～なぜ私は、この缶を開けてしまったのでしょうか。賜物です。缶のオープナーを処分すべきですが。殺人をしてはならない。それは殺すのと違います。区別と違いに留意ください。殺人。殺人をしてはいけない。あなたは一生の間、それに悩まされ、追われることになるから。あなたの人生は二度と同じではないでしょう。姦淫をしてはいけない。姦淫が姦淫者に与える影響を考えてのことです。わたしはあなたをとても愛しています。そんなことが、あなたに起こってほしくありません。その十戒の１つ１つを見ていけます。最初の 5 つの戒めは、神への愛を扱ったものです。十戒についてはとても興味深いのは、「出エジプト 20 章」の学びで見ましたが、一読では分かりませんが、最初の 5 つは垂直方向、「心、魂、精神、力、体のすべてをもって神を愛すること」です。続いて次は、水平方向、隣人を自分のように愛することです。十字架のように。イエス・キリストが律法

を成就された十字架のように。縦（垂直）も横（水平）も。そのようにまとめ満たすことができるのです。ですから神は、こんな風に仰っています。「これが、わたしがあなたにそれをしてほしくない理由なのです。」「これは意図的な不服従で、意図的にわたしに背くと起こるのは、結果的に苦しむことです。」わお～なんという説明でしょう！　つまり、彼ら正義と公正を待ち望むが、それはない。救いを待ち望むが、私たちから遠く離れている。義に基づいて歩みながら、神に意図的に背いている人の状態です。
最後の１つ。それから先に進みます。こういう風に考えてください。地上の親として、地上の父、地上の母、地上の祖父母として、ご自分の子どもたちや孫たちに、彼らが不必要に苦しむ姿を見て、どれだけ心が痛みますか？　ここでのキーワードは「不必要に」です。心が傷つきませんか？　親として何をすればいいのか？　私たちは堕落した者です。私たちは罪びとです。しかし、私たちは子どもたちに警告し、指導し、正し、子どもたちを愛する親として、子どもたちが特定の道に進み、その結果として人生の選択に苦しむことがないよう、できる限りの努力をします。彼らがそれをすると、彼らが苦しむことになるのです。あなたの心はどうなるのでしょうか？　神の御心にどれほどの影響を与えるでしょうか。どれだけ神の御心を悲しませることでしょうか。ある実話を思い出しました。牧師会議で、実際にある牧師から聞いた話ですが美しい女性でありながら、麻薬に溺れてしまった若い女性の話を共有してくれました。それが如実に表れました。彼女はおそらく 20 代だったと思いますが、ドラッグの影響で 50 代、60 代に見えました。つまり、彼女は肉体的な影響を受けたということです。この牧師は、彼女を導きたく、彼女に主を伝えようとしていました。その過程で、彼は彼女に基本的な質問をしました。「ご家族はいますか？」彼女はこう言いました。「はい。私には愛する父と母がいます。」その牧師は、「どちらに？」彼女は答えました。「両親は私に言いました。そうしなければならない、と。もう我慢の限界だったのです。私が自分の人生が壊れるのを黙って見ていられなかったのです。それが両親を壊してしまうから。そのために、愛する娘との関係を断ち切り、自分たちだけで生きていく苦渋の決断をしなければなりませんでした。」なぜなら、そうしなかったなら、娘がしている事のゆえに、彼らが壊れていくからです。つまり、それは本当に、私たち親にとって、どれだけ辛いことなのかよく分かります。特に、放蕩息子や道を踏み外した娘を持つ親にとってはね。ただ、あまりにも苦しいです。希望と励ましの言葉は、神はあなた以上に、彼らを愛しておられます。それを思い出す必要があります。あなたは彼らを愛していて、お～　こんなに深く愛することができるとは思わなかったでしょう。しかし、あなたが彼らに対して持つ愛と神が彼らのために持っておられる愛とは比べ物になりません。あなたが彼らを愛する以上に、神は彼らを愛しておられます。ここでもう一歩踏み込んだ話をします。あなたが思っている以上に、神は彼らと一緒にいたいのです。それって励まされますよね？　だって、じゃあいつ？　絶対に諦めないで欲しいです。彼らのために祈るのを止めないでください。「ええ、でも何年も経っていますからね。」止めないでください。しつこいやもめの例えのように。ポイントは、神がこの義の裁きを下すことができない裁判官だということではありません。彼はついに、ただ この女性が毎晩毎晩メールをしてくるのをやめさせ、彼のソーシャルメディアのページに投稿するのをやめさせるため、「正義が欲しい。私には正義が必要だ。」と 彼の家の扉を叩き、警備員を通り抜け、ずっと電話をかけ、着信拒否しても出来ません。彼女は、その着信拒否をすり抜け、彼にずっと電話をする方法を探し出すのですから。最終的に彼は言います。「分かったよ！もういい！分かった。」神は天国におられ、こんな風に仰るとは想像しないでください。「分かったよ！もうやめろ！」想像してみてください。そうだったら恐ろしいです。しかし、神が仰っているのは不当な裁判官でさえその粘り強さに応じるなら、 決して、決して、決して、決して、決して諦めてはいけませ

ん。なぜなら、実際最初から、それこそがこの例え話の要点だからです。イエスは、例え話を教える前に、例え話のポイントを仰います。この例え話のポイントは、祈り、諦めないことです。祈り続け、求め続け、探し続け、叩き続ける、そうすればその扉があなたに開かれます。

求めなさい。そうすれば与えられます。探しなさい。そうすれば見出します。（ルカ　11：9）

ですから、決してあきらめないでください。しかし、あなたが祈るたびに あなたは神の御心に沿って祈っているのです。神が彼らを愛しておられるからです。あなたが彼らのために祈るとき、神はその祈りを聞いてくださいます。神は、彼らの主権や自由意志、自由な選択を侵害することはあられません。それは愛ではないからです。しかし 神が何をなさるのか、何をされるのか。膨大な数の証があります。何年も祈り続けた結果、道を踏み外した娘や、放蕩息子も帰ってきたと、どれほど多くの親が力強く、励ましに満ちた証を語っておられるか。親しみを込めて、「放蕩息子のたとえ」と呼ぶ例え話があるのはそのためです。その例え話の何が面白いかというと？　話が逸れているのは分かっていますが、これを聞いて、励まされる必要があるたぶん、どなたかのための適切な言葉です。この例え話の何が魅力的かというと当時の中東の習慣を知らないといけません。現代も、本当にほぼそうですが、父が息子に駆け寄ることはありません。考えられないことです。しかし、私たちが親しみを込めて「放蕩息子のたとえ」と呼ぶこの例え話では、その父親は、本当に息子の帰りを待ち望んでいるのです。決して諦めなかった。彼は準備万端で、毎日朝起きて見張っていました。「今日かもしれない。今日かもしれない。」案の定、ある日、その日が来ました。彼は車道に出てきました。現代に例えます。彼はバスローブを着ています。OK、バスローブと言っておきます。案の定、遠くから、息子が来るのを目にします。父親は何をするか？　駆け出すのです。ローブの裾をまくって、早く息子に近づけるようにして、息子に駆け寄ります。中東では絶対見ないでしょう。父親が息子に駆け寄るなんて。息子が駆け寄るのです。「お前が、こっちに来なさい。」で。その父親が何をするのか。「何度御前に言ったことか、ゲンコツくれてやろうか？」ここでは、私は、分かりました。しなければ。イエスが教えられた、例え話の中にありますから。イエスは、息子が家に帰る前に、心の中で何を考えていたのかを、実際に教えてくだっています。彼は、「自分は完全に失敗した」と思っています。「資産すべてを宴会やドラッグ、女に浪費し、今やもう何もなく、ユダヤ人のために豚の糞をかき集めている。それは忌み嫌われることだ！家に帰り、父の雇人になる方がこれよりましだ。少なくとも、自分は雇人になれる。今経験している事より、ずっと良い。しかし問題がある。私は家を出るとき父さんを傷つけた。」皆さん、息子はそれが分かっています。推論ですが、例えの中にあると思います。それで息子は考えています。「OK。どうやって、、、」私は息子が、家に帰る練習をしていたと想像します。「お父さん、ごめんなさい。雇い人にしてくれませんか？　私を受け入れてくれませんか？　地上での残りの生涯、外出禁止にします。私を叩き、鞭打ち、こすりつけ、罰せられるでしょうね。自業自得で、それに値します。私を受け入れてもらえませんか？」息子は帰路で、言う事、語る事を練習していました。でも彼には、何も言う機会がありませんでした。なんという描写でしょう。父親は駆け寄り、泣き、喜びの涙を流し、息子を抱きしめます。きつく抱擁し息子を離したくない。息子は何かを言おうとしたとしても、「父さん、、、」「いやいや、黙って。お前が帰って来た。」その父親が長男に言った言葉に、どんなに驚いたことでしょう。別の学びの課題ですが。「おい、さあみんな、大宴会だ。息子が帰って来た。帰って来たのだ。」長男はこうです。「マジ？なぜそんなことを？　私はずっと忠実にここで過ごしてきました。財産を無駄にしていません。お父さん、何をしているのですか？　なぜそんなことをするのですか？不公平です。」そう、人生は不公平です。息子たちが小さかった時に教えた歌を思い出します。

♬世界はあなた中心に回っているわけでなく、人生は、不公平なのだ♬　ボンボンボン
♬世界はあなた中心に回っているわけでなく、人生は、不公平なのだ♬　さあ、皆さんご一緒に～～ー(笑)ー　息子たちは今、20 歳台ですが、それが多くを説明します。彼らの今の行動。息子たちは、これがトラウマだと思いますが、分かっています。知っています。人生は不公平。世界は私中心に回っているわけではない。罪の結果です。皆さん、罪の結果の苦さは、罪の一時的な喜びの甘さの後、ずっと長く残ります。また、罪は一時的には楽しいものだと聖書に書かれています。しかし結局、ヨモギのように苦い。罪の結果の苦さは、罪の一時的な喜びよりもずっと無限に長く続きます。では、12 節に進みます。彼らはまだ反応していて、ここでは実際に正しい方向に進んでいて、良くなっています。

イザヤ　59

12 それは、私たちの背きが御前で多くなり、私たちの罪が不利な証言をするからだ。まことに、私たちの背きは私たちとともにあり、私たちは自分の咎をよく知っている。

13 私たちは主に背き、主を否んで、私たちの神に従うことをやめ、虐げと反逆を語り心に偽りのことばをはらんで告げる。

嘘、偽証、偽りを。

14 こうして公正は退けられ、正義は遠く離れて立っている。それは、真理が広場でつまずき、正直さが中に入ることもできないからだ。

15 そこでは真理は失われ、悪から遠ざかっている者も略奪される。

これ覚えておいてください。あとで戻ります。非常に興味深いです。”悪から遠ざかっている者も略奪される。”

16 主はこれを見て、…

何をご覧になったのでしょうか？主は、彼らがその悪から離れ、立ち返り、彼らは今、標的となり、獲物となったのをご覧になりました。主のご返答は何でしょうか。ご反応は、

…公正がないことに心を痛められた。

わお～興味深い展開になってきましたね。ここで何が起こっているのか。彼らは、少なくとも最初は、自分の罪の結果を認めており、非常に生々しい描写があります。彼らはそれを受け入れ、認めました。認識し、告白しました。そして今や、罪の結果から、罪そのものを認めるようになったのです。それが罪を告白すると言う意味ですね。罪を罪として告白する。私たちはそれを罪と呼びたくありません。罪のように悪く聞こえはしない他の呼び方をしたいのです。罪は悪く聞こえますからね。なぜ罪は悪く聞こえるのでしょう？　なぜなら悪いからです。 再度、意味深ですが。しかし私たちは、罪と呼んだり、認めたり、告白したくない。なので、罪という言葉の代わりに非常に賢い単語を考えつきました。「問題」とか。ただの問題だから。問題があるんだ。イエスは、あなたの問題のために来られたのではありません。あなたの罪のために来られたのです。イエスは、あなたの罪を支払われたのです。問題ではありません。こう呼びます。私のあとに復唱ください。私の口元を見てください。SSSSSS～～～～　皆さんも出来ますよ。SSSSSS～～～～Sin/罪。罪です。そういう風に告白すると、神が駆けつけて下さいます。あなたが罪として告白したから。イエスがあなたを赦し、清めて下さいます。しかし、私たちがそれを罪の領域外に置く限り、神の御手から遠ざかります。罪以外の何かで呼ぶとき、たぶん私たちがよくやりがちなのが、お付き合いください。姦淫という言葉には恐ろしい響きがありますよね。だってそうだからです。私はそれを姦淫と呼びます。「それ、浮気と呼びましょうよ。」「まあ、聞こえがいいですね。お～ただの浮気。」

「お～ずっと聞こえが良いですね。浮気。」「お～良い考えだね。姦淫だと思ってた。」「馬鹿って呼んで～ただの浮気さ。」いいえ！　姦淫です！！！　それを何と呼ぶのか？　罪です！！！　そう告白しなさい。なぜなら、そうすれば、あなたは自分自身を正しい側に置くことになるのです。今や義が戻って来るからです。あなたはそこから背を向けていました。今はこのことの義の側にいます。義が戻ってくるのです。正義が戻って来るのです。今やあなたは神に、この単語を使うのは好きじゃありませんが、より良い言い方がないので、許可。繰り返しますが、言い方はマズいです。なぜなら私たちは、神の赦しの御手を、罪を罪と告白したくないという私たちの縄で縛っているからです。私たちが、罪を罪として告白するや否や、神は私たちを守りに駆けつけて下さいます。そして突然、この罪を告白して、今は悪から離れるから私たちは敵の怒りを買ってしまいました。獲物なのです。私たちは背中に標的があります。考えてみれば、今や敵は私たちを見ているのですから。敵は言います。「お～彼らは悪から離れた。お前たち、下りて行け。取り組みを強化する必要があるぞ。狙い通りの場所に彼がいたんだから、元いたところへ彼を連れ戻すのだ。彼は悔い改めてしまった。立ち返った。自分の罪を認めたんだ。罪から離れたぞ。」
危険信号が点滅します。緊急！緊急！標的！標的！獲物！獲物！　私がこれを言うとき、何を意味するか私がそれを言うとき、私がいつ話すかを皆さん、知っていると思いますが、正しい方向に足を踏み入れると、正義を追求することになるというのは、敵はやっきになります。すぐ近くにいます。つまり、これはどうでしょうか。再度、皆さん、私がこれを言うとき、何を言いたいのか分かって下さるでしょう。祈ろうとすると、敵が何をするか見てください。電話が鳴り出し、一週間ほど鳴ったことないのに、それが鳴り出し、そして間違い電話。ー警報音ー　それ誰だと思いますか？　子どもたちが喧嘩し出し、電話が鳴り出し、ソーシャルメディアが爆発し、すべての地獄が幕開けです。あなたに敵対して、文字通り地獄が始まるので。あなたが悪から離れ、正義を追求するため足を踏み入れたからです。「箴言」にありますが、これは非常に緩い言い換えです。こんな感じです。あなたが追い求めるものが、あなたを追い求める。両方作用します。あなたが悪を求めれば、ええ、悪があなたを求めます。あなたが義を求めれば、義があなたを求めます。神の御言葉における、原則の 1 つで、真理です。16 節、ですからここで、神は不快に思っておられ、このことについて何かをしようされています。神は見回しておられます。

イザヤ　59

16 主は人がいないのを見て、とりなす者がいないことに唖然とされた。それで、ご自分の御腕で救いをもたらし、ご自分の義を支えとされた。

ここに記されている描写を想像ください。彼らは悪から離れました。神は今、彼らを守るために駆けつけようとしておられ、周囲を見渡しておられます。「エゼキエルが記すように隙間を埋めてくれる人はいないのか？　仲裁者はいないのか？　その間に立ってとりなし、祈り、彼らを義に導く人はいないのか？」悲しい事に、…とりなす者がいないことに唖然とされた。そこで神は何をなさるのか。ご自分でなさるのです。ご自分の御腕で。ただ一人も、イスラエルを主のもとに導く者がいない。主のご反応は、恵みと憐れみによって、なぜなら、それが神がどういうお方であり、どういうご性質かなのです。お～神がなさいます。神はなさらねばなりません。神は出来ないが、御出来になりません。正しい文法でないのは分かってますが、神は出来ないが、出来ません。
…それで、ご自分の御腕で救いをもたらし、
ご自分の義を支えとされた。17 節は、有名な一節、神の完全な武具に関するエペソ 6 章を思い出させます。

イザヤ　59
17 主は義をよろいのように着て、救いのかぶとを頭にかぶり、復讐の衣を身にまとい、ねたみを外套として身をおおわれた。
神についてを話しています。
18 主は彼らの仕打ちに応じて報い、はむかう者に憤り、敵に報復し、島々にも報復をされる。
おっお～敵に怒る事から、敵を気の毒に思う事がありますか？そう、その教科書がここです。神がこう仰っているからです。「待ちなさい。仲裁に入ってくれる人、隙間を埋めてくれる人、彼らの代わりに、する人はいますか？　いないなら、わたしが自分でします」わたしがそうするなら、見ていなさい。完全に終わらせますから。これは、私がやることです。」19 節、ここがわたしがする理由です。
19 そうして、西の方では主の御名が、日の昇る方では主の栄光が恐れられる。…
敵が押し寄せるなら、、、敵は押し寄せますが、
…それは、主が激しい流れのように来られ、その中で主の息が吹きまくっているからだ。
はい！神よ。神が鎧を着るというのですか？　ーはい。神がなさると仰っています。神は、私たちのために、私たちの代わりに、この戦いを、敵に対して戦われるのですか？ーはい。そう仰っています　う～見ても良いですか？　ーはい。良いですよ。そこに座って、主の救いを見てください。わたしを見ていなさい。20 節、
20「しかし、シオンには贖い主として来る。（これがイエスです。この先、未来の世の救い主についての預言です。）ヤコブの中の、背きから立ち返る者のところに。――主のことば。」
21「これは、彼らと結ぶ”わたしの契約”である――主は言われる――。（わたしの契約、を覚えておいてください。）あなたの上にあるわたしの霊、わたしがあなたの口に置いたわたしのことばは、あなたの口からも、あなたの子孫の口からも、子孫の子孫の口からも、今よりとこしえに離れない――主は言われる。」
わお～聖書の学びで何という章の締めくくり方でしょうか。しかしその前に、この一つの真理についてのコメントをしなかったら、大失念になってしまいます。繰り返しますが、最初に読んだときには見落としがちですが、神が私たちと契約を結ぶのはどうしてなのかということです。私たちが神と契約するのではありません。なぜそれが重要なのか？　なぜなら、契約しないなら、契約は破れません。もう一度言います。契約しなかったら、破れません。私たちが契約すると、破るのを神はご存知なのです。それが理由ですね。 契約を結ぶ時、現代の表現の方法が、「ねえ、契約を結ぼう/英：Cut a deal」創世記から由来しています。神がアブラハムと契約される時、つまり、この契約を結ぶ 2 つの当事者は、このようにするのです。彼らがするのはこうです。なんとも、、、動物を使って、動物を切断します。殺して、その動物の部位を取り、血を流します。よろしいですか？　もう終わりますからね。切り刻まれた動物たちを、その血の中に広げ、この契約の両当事者は、血のついた切り刻まれた動物たちの間を歩くのです。もし契約を破るならば、この動物にしたことが自分に起こるということに同意するのです。それを「抑止力」といいます。大丈夫ですか？　当時は、実例がないから企業弁護士がたくさんいるとは思えません。
「契約を破ったら、これらの動物にされたことが私にもされると同意するのです。終わりです。OK、とにかく、ポイントは分かりますね？　だから神はアブラハムに仰います。「行って、動物を切り裂きなさい。わたしたちは契約します。」（創世記 3：10 参照）
「アブラハムよ、動物を切り裂きなさい。」彼は、神と契約する為、切り裂かれ、血が流れる動物の間を

歩くのを待っていました。そして神は、出て来られる前に、アブラハムを深い眠りに落とされます。（創世記　3：12 参照）そして神が、動物の間を歩かれます。神が契約を結ばれます。アブラハムが目を覚まし、こんな風です。「ほ～何が起こったのですか？」「OK。わたしはあなたと契約を結びました。」ええ、でも私は？「いいえ、あなたはわたしと契約しない。もししたら、あなたは守れません。あなたの不従順さのための当事者になりたくありません。ですから、あなたはわたしと契約する必要ありません。わたしがあなたと契約します。」ここが、これに関して私がコメントしたい理由です。私たちは、神への誓い、神への約束、神との契約、神との合意、神との誓約をしません。私たちが守れないのを神はご存知なのです。しかし逆に、神が私たちと契約なさるのは、主の血潮による新しい契約ですよ。主は私たちと契約されています。そして決して破られません。”今よりとこしえに”永遠です。ユダヤ人に関して、旧約聖書で読みますね。神は永遠の契約をユダヤ人にしておられます。その意味分かりますか？　皆さん、私がどれほど深遠かもうご存じですよね。永遠の契約とは、永遠に永遠に続く契約です。永遠の契約です。その意味は、神はユダヤ人を見捨てておられないということです。率直に言って、私たちは神に、ユダヤ人を見捨ててほしくないはずです。アラブ人がそう言っているのですよ。もし神が、ユダヤ人を見捨てておられ、ユダヤ人と契約があられるなら、神は、私や皆さんとも契約があられるのです。神がユダヤ人を見捨てておられるなら、どれほど皆さん安心していられますか？　あなたとも契約があられるのですから。神はあなたを見捨てておられるのですか？神にユダヤ人を見捨ててほしくないでしょう。理由は、神はユダヤ人と契約があったのにユダヤ人を見捨てたのなら、そしてあなたも見捨てられます。神はあなたとの契約があるからです。変な言い方ですが、絶対忘れないでしょう？　神は私たちと契約されています。神は私たちと契約を結ばれています。私たちの子孫、その子孫のために。今よりとこしえに。永遠に。絶える事はありません。神が、こんな風に言っていいですか？私の雑な言い方を許してほしいのですが、決定事項なのです。

完了した。（ヨハネ　19：30）

署名、捺印、納品済。完了。それが私たちとの契約です。OK。最後の１つ。まだ最後の１つと言ってませんね？　なので、最後の１つです。私の心を聞いてください。失礼を言うつもりではありません。神は御出来になるので、長年に渡って多くの運動を用いてこられました。しかし、男性のためのミニストリーのプロミス・キーパーズ運動を覚えている方も多いと思います。再度、多くの男性がキリストに辿り着きました。その事に神を褒めたたえます。長い年月後の今、それは、プロミス・キーパーズの７つの約束だったと思いますが、私は実は 一度も行ったことがありません。友人が行ったことがあります。再度、主を褒めたたえます。しかし私は、その約束を読みました。それを見て、皆さんにはオープンになって、言いますが、その７つの約束を読んだ時、こんな風になりました。「は～私には約束できない。」十戒も守れないのに、どうやってその７つの約束を守れるのか？１つ１つ全部見て、７つ目に行くまでに、既に最初の６つを、破っていました。神はそれをご存知です。いいえ私たちは、、、神が、私たちに約束されているのです。神が、私たちに契約を結ばれているのです。私たちは結んでない契約を破ることはできません。私たちが契約しないから、私たちは破る事はありません。私たちは神と契約していません。神が私たちと契約されています。ゲームチェンジャーです。それが全てを変えるはずです。そうなのです。全てのプレッシャーがありません。私がしくじって、契約を破るたびに、こんな感じです。皆さんは私より霊的ですから、そう、たぶんあなたの事です。しょっちゅうではありませんが、毎回、、、今何時ですか？　締めくくる時間？ でも、たぶん毎日、毎時間？　皆さんもきっとそうしますよね。霊的になんでもしないでく

ださい。問題ではありません。なぜなら、その契約は、私が守るのが前提ではないからです。神が契約を結ばれた永遠の契約なのです。イエスの血潮においての新しい契約です。主が契約を結ばれました。主が血潮で契約を結ばれたのです。ご起立ください。祈りましょう。最善を尽くしました。何と素晴らしい章なのでしょうね。誰が知っていたでしょうか。ええ、神はご存知でしたが、ただ、この書のこの章に、目立たないよう詰め込まれています。神がどれほど私たちを愛し、私たちの罪のせいでの、不必要な苦しみから、私たちを守りたいと思っておられるかが詰まっているのです。祈りましょう。
天のお父様。どうもありがとうございます。主よ、私たちはあなたに畏敬の念を抱きます。ただ畏敬の念を。あなたは荘厳で、圧倒します。御座の前で、歌い、賛美を捧げるのが待ちきれません。「ふさわしい、ふさわしい、ふさわしい屠られた子羊」と。主よ、あなたはふさわしい方です。あなただけが、ふさわしいのです。この章の学びに感謝します。あなただけが御出来になる通り、聖霊によってここからそれを用いられ、私たちがここに置いていかないよう、家に持ち帰り、日々、週の残り、週末を過ごせるようにお願いします。主よ、あなたの御言葉に耳を傾け、これが私たちの人生に必要な影響を与えるのを祈ります。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオへ
http://www.calvarychapelkaneohe.com/
Calvary Chapel Kaneohe47-525Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii　　筆記 hukuinn7